

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	B-Core.Club		公表日		令和8年 3月 24日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5		・レッスンはその日の利用人数の中でグループ分けを行なっている。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	5		・利用定員や子どもの状態等に対し適切な職員配置数になっている。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5		・パーティションを活用し学習スペース、マイバーバストレーニングスペース、娯楽スペースに分け、子供達が選択出来るようにしている。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5		・日当たりや風通しも良く定期的な空気の入れ替えなどをおこない、子ども達が快適に過ごせるようにしている。週に一回は拭き掃除の徹底を行なっている。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5		・子どもからの申し出、もしくは必要に応じて安心できる場所の提供を行なっている。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5		・朝の申し送りや会議等で職員同士の情報共有を行なっている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		・保護者向け評価表の情報共有を職員間で行ない検討し、業務改善へと繋げている。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		・朝の申し送りやモニタリングなどで職員の意見を聞く場を設定し業務改善に繋げている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5		・第三者による外部評価をしっかりと受け止めた上で検討を行ない、業務改善に繋げている。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5		・Lively(月に1回)の研修で職員の資質向上を図るための研修を行なっている。	
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5		・適切な支援プログラムの作成を行ない公表を行なっている。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5		・個々に応じたアセスメントの実施を行ない、子どもと保護者のニーズをもとに計画の作成をおこなっている。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5		・モニタリング会議等で職員間の意見を出し合い情報共有をおこない計画を作成している。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5		・サービス計画の回覧をおこない職員間で情報共有し支援をおこなっている。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5		・子どもの適応行動の状況を独自のアセスメントにより確認をおこなっている。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5		・子ども一人一人に応じた必要な項目の設定をおこない具体的な支援内容の設定をおこなっている。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5		・職員間で話し合い活動プログラムを立てている。	

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5		・マンネリ化しないように活動内容の検討をしている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5		・その子に応じて個別と集団を組み合わせ支援をおこなっている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5		・職員間で活動の事前打ち合わせを行ない、スムーズな流れで取り組めるように連携をおこなっている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5		・職員間で振り返りをおこない、情報共有している。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5		・保護者さんにつたわるような記録の書き方に留意し次の支援へと繋げるようにしている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5		・定期的なモニタリングをおこない情報共有をし、適切な見直しを行なっている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	5		・「4つの基本活動」を組み合わせた上での支援を行なっている	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5		・子どもの選択肢を大切にし、意見を取り入れた上で支援を行なっている。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5		・子どもの状況を把握している職員が参加し情報交換をおこなっている。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5		・関係機関と連携して支援をおこなう体制を整えている。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5		・送迎時等に学校での様子等を聞き情報共有を行なっている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	5		・就学前の子供の用数を聞き、情報共有を行なっている。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	5		・事業所での様子を移行するところへ伝え情報提供をおこなっている。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	5		・地域の児童発達支援センターとの連携を図り助言や研修を受ける機会を設けている	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	5		・地域のクラブチームとの交流会等で地域の子どもの交流する機会を設けている。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	5		・積極的に参加出来ている	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5		・日頃から送迎時際に子供の様子などを伝え共通理解に努めている	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5		・ペアレントトレーニングなどで家族等の参加できる研修の機会や情報提供をおこなっている	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5		・保護者さんが分かりやすいようにプリント等を見せながら丁寧な説明を心掛けている。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5		・一人ひとりの子どもへの意向の聴き取りと事業所内相談等で保護者の意向を聞き、サービス提供作成に反映させている。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5		・サービス計画を見せながら説明をおこない同意を得て署名を頂いている	

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5	・保護者さんからの相談があった際にはすぐに対応をおこない助言や支援をおこなっている	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	5	・保護者会やペアレントトレーニング、みかん狩り親子遠足等で交流できる場の設定をおこなっている	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5	・苦情解決マニュアルに沿って対応し迅速な解決に努めている	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5	・月に1回事業所の様子をホームページ等にて発信し公式LINE等でも情報を提供している	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5	・個人情報保護法マニュアルに沿って厳重に管理している	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5	・送迎時、面談等、公式LINE等での情報伝達も取り入れ分かりやすいように工夫している	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	5	・地域のクラブチームとの交流会等で地域の子どもの交流する機会を設けている。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	・保護者会等で家族などに周知をおこない訓練を定期的におこなっている	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5	・BCPの策定をおこない研修・訓練も定期的におこなっている	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5	・職員に事前に回覧をおこない情報共有をおこなっている	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	・適切な対応が出来る	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5	・安全計画の作成をおこない研修や訓練がおこなわれている	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5	・子どもの安全確保に関して家族などに周知をおこなっている	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5	・他事業所と共同での点検を行ない、ヒヤリハットの共有をおこない改善している	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5	・虐待防止の職員研修（外部講師、事業所内）をおこなっている	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5	・身体拘束適正化委員会を中心に検討会議をおこない決定した内容については保護者に説明し計画に記載している		